**大崎市平和体験事業　長崎で平和について学びました**

　8月8日から10日の日程で、大崎市の未来を担う子どもたちが戦争や平和について学ぶ、「大崎市平和体験事業」を実施しました。

　市が毎年行っている「小・中学生平和作文コンクール」で、近年入賞した中学生と高校生の14人が参加し、被爆地の長崎市を訪れ、被爆体験者の講話を聞いたり、長崎原爆資料館や被爆した建造物などを見学しました。

　9月3日の事後研修会では、事業に参加して感じたことや平和な世界をつくるために自分なりにできることを、互いに意見交換をしました。参加者は、「訪れた長崎の街並みはきれいで、焼け野原になった状態から、人々の復興への努力が伝わってきた」などと話していました。

　また、平和な世界を築くために必要なこととして、「戦争の悲惨さや平和の尊さを伝えるために、まずは正しく知ることが大切」、「一人一人は微力だが、身近な人に伝えていく」などの提言がありました。

　平和体験事業に参加した感想文は、文集にまとめ市図書館などへ配架する予定です。文集を読み、未来を担う子どもたちの思いに触れ、共に平和について考えてみましょう。

問い合わせ 政策課政策企画担当 電話23-2129

写真：事後研修会集合写真

写真：長崎平和公園などを見学しました

写真：事後研修会では、一人一人の意見を熱心に聞いていました